

西村内閣府特命担当大臣記者会見要旨

(令和元年11月26日(火) 18:38~18:41

於) 中央合同庁舎8号館1階S101、103記者会見室)

1. 発言要旨

本日、全世代型社会保障検討会議の第4回の会議を開催いたしました。本日は、年末の中間報告、とりまとめに向けた具体論を議論いたしました。議論の結果、概要は、以下のとおりであります。

これまで社会保障改革といえば、年金、医療、介護だけがテーマであったわけですが、今回の全世代型社会保障改革は、人生100年時代の到来を踏まえて、働き方も含めて改革を行っていくものであります。結婚、出産といった人生の段階に応じて、また、病気になったとき、高齢になったとき、どのような働き方ができるか。年金などの各制度との関わり合いも重要になってくるわけであり、ライフスタイルが多様化する中で、高齢者についての画一的なとらえ方を変え、高齢者だけではなく、子どもたち、子育て世代、さらには現役世代まで広く安心を支えていくため、年金、労働、医療、介護など社会保障全般にわたる改革をとりまとめていくものであります。総理の指示にもございましたけれども、具体的には、70歳までの就業機会確保の法案の早期提出を図るとともに、中小企業の負担感や生産性向上に配慮しつつ、厚生年金の適用範囲をどのようにしていくのか。また、医療などの分野も含めて、年末の中間報告や、さらには、来年夏の最終報告に向けて、具体的な調整を進めていく必要がある。総理からは、私を中心に、加藤厚生労働大臣など関係大臣と連携しながら、本日はいただいた御意見を踏まえ、与党との調整も十分に図りつつ、とりまとめに向けて、具体的な検討を進めるよう、御指示があったところであります。しっかりと調整していきたいというふうに思います。

2. 質疑応答

(問) 総理から、医療、年金、介護、働き方含めてパッケージとして行っていくという御発言がありましたが、民間議員からもこのような一体として、パッケージで、という意見は出たのでしょうか。また、中間報告には一体として、パッケージで、という点にこだわるといふ発言があったのか教えてください。

(答) それぞれの民間議員の御発言につきましては、この後また事務方からのブリーフをさせていただきます。何人かの方から今申し上げたようなパッケージで示していくべきであるという御意見が

ございました。実際に中間報告にどこまで何を盛り込むのか、最終報告に何を盛り込むか等は、今後の調整次第であると思っております。総理からの指示のとおり、医療の分野も含めて、年末の中間報告、さらには来年夏の最終報告に向けて、与党も含めて具体的な調整を進めていきたいと思っております。

(問) パッケージについて何人発言したのでしょうか。大多数でしょうか、それとも少数でしょうか。

(答) 後ほど事務方から説明させていただきます。

(以 上)